Nikon

NIKKOR

AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR

Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario
Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서

Printed in Japan
5B1A05(7C)
7MA0237C-05

NIKON CORPORATION

M/A(マニュアル優先オートフォーカス モード)と A/M（オート優先オートフォーカスモード）の使い方

M/A：フォーカスリングを回転させると、瞬時にマニュアルフォーカス優先が行えます。

A/M：フォーカスリングを回転させても、瞬時にはマニュアルフォーカスにならず動きません。オートフォーカスを優先させたい時にご使用ください。

① **フォーカスモード切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**

② **オートフォーカス選択肢、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラの AF 作動（AF-ON）ボタンをおしてレンズのフォーカス作動ボタン（フォーカス作動設定スイッチ：AF-ON）を保持したまま、フォーカスリングを手で回転する**

・マニュアルフォーカス優先が行えます。

・カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラの AF 作動（AF-ON）ボタンまたはレンズのフォーカス作動ボタンを再度操作すると、オートフォーカスで撮影が行えます。

フォーカス制限切り換えスイッチの使い方

オートフォーカスで撮影する場合に使える機能です。

FULL：すべての撮影距離で使用できます。

∞ ～ **10m**：撮影距離が約 10 m 以上の場合にセットします。ピント合わせの時間を短縮できます。

■ フォーカス作動設定スイッチとフォーカス作動ボタンの使い方

フォーカス作動設定スイッチで、フォーカス作動ボタンの機能を次のように設定できます。

フォーカス作動設定スイッチ	フォーカス作動ボタンの機能
AF-L	フォーカスロック
MEMORY RECALL	メモリーリコール
AF-ON	オートフォーカス作動

・フォーカス作動ボタンは、4 個のうちいずれかを押すと機能します。

・フォーカス作動ボタンの位置を変更（回転）したい場合は、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

フォーカスロック（AF-L）

オートフォーカスで撮影する場合に使える機能です。

① **フォーカスモードを切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**

② **フォーカス作動設定スイッチを（AF-L）にセットする**

③ **オートフォーカスモードにフォーカス作動ボタンを押し、フォーカスをロックして撮影する**

・フォーカス作動ボタンを押している間、ピントが固定されます。

・フォーカスロックはカメラ側でも行えます。

メモリーリコール（MEMORY RECALL）

レンズにピントの位置を記憶させて、瞬時に呼び出すことができます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

ピントの位置を記憶させる

① **電子目スイッチを♪にセットする**

② **被写体にピントを合わせる**

③ **メモリーセットボタンを押す**

・正しく記憶された場合は、ピッと鳴ります。

・正しく記憶されなかった場合は、ピッピピッピピーと鳴り、距離目盛が左右に 10 回程度振れます。もう一度ピントの位置を記憶させてください。

・ピントの記憶の記録は、フォーカスモードやフォーカス作動設定スイッチ等の設定にかかわらず可能です。

・カメラ電源を OFF にしたり、レンズをカメラから取り外してもピントの位置を記憶しています。

メモリーリコールを使って撮影する

① **フォーカス作動設定スイッチを（MEMORY RECALL）にセットする**

② **フォーカス作動ボタンを押し、ピントに戻ったら撮影する**

・シャッターボタンを半押ししていても、フォーカス作動ボタンを押すと記憶させたピント位置にセットされます。

・フォーカス作動ボタンは、シャッターがおされる直前に押してください。

・フォーカス作動ボタンが長時間オンの状態で、連続的にオートフォーカスまたはマニュアルフォーカスに戻ります。

電子目スイッチについて

メモリーリコールの操作時の電子目を確認するのときや切り換えられます。

♪：電子目が鳴ります。

：電子目が鳴りません。

オートフォーカス作動（AF-ON）

① **フォーカスモードを切り換えスイッチを（A/M）または（M/A）にセットする**

② **フォーカス作動設定スイッチを（AF-ON）にセットする**

③ **フォーカス作動ボタンを押してピントを合わせ、撮影する**

・フォーカス作動ボタンを押している間はオートフォーカスが作動します。

・オートフォーカス作動はカメラ側でもできます。

■ 被写界深度

・プレビュー（絞り込み）機能を持つカメラでは、撮影前にファインダーので被写界深度を確認できます。

■ 絞り値の設定

・絞り値は、カメラ側で設定してください。

・絞り値によっては、連続撮影速度が低下する場合があります。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 4.0 段（NORMAL モード使用時）シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲がひろがります。

※CPU 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットデジタル一眼しで使用時、DX レンズは DX フォーマットデジタル一眼しで使用時、ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正スイッチの使い方

OFF：手ブレ補正をしません。

NORMAL：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する時などに適しています。

SPORT：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。スポーツなど動きの安定した激しい被写体を撮影する場合に適しています。

手ブレ補正使用時のご注意

・シャッターボタンを半押し、後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。

・手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがあります。異常ではありません。

・流し撮りには、NORMAL モードと SPORT モードどちらも対応していますが、SPORT モードにすることを推奨しております。

・NORMAL モードおよび SPORT モードに流し撮りなどをしてカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレ補正が機能します。

・手ブレ補正中にカメラの電源を OFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを装着とカメラが動作するとレンズが動き、故障するおそれがあります）。

・内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電時は、手ブレ補正は行いません。

・三脚撮影時に NORMAL モードまたは SPORT モードにすると、三脚ブレを軽減します。ただし、三脚の種類や撮影条件によっ、OFF にした方が良い場合があります。

・一般を使用するときは、NORMAL モードまたは SPORT モードにすることをおすすめします。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護に役立ちます。

取り付け方

・クランプノブをしっかり締めてください。

・フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

・広角側はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

・フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

・広角側はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

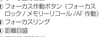
■ 組み込み式回転三脚座の使い方

三脚は、カメラ側の三脚座に取り付けます。

・三脚の取付によっては、カメラのボディ下部をふた状態でカメラを回転した際、三脚に手がぶつかることがありますので、ご注意ください。

・三脚座の座部のとめネジを外すことによって、座部を取り外すことができます。詳しくは、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

カメラ位置の変更



レンズの三脚座リング止めネジを少し緩め（❶）、カメラ位置（縦／横）に応じてレンズ回転位置座標を合わせ（❷）、三脚座リングを止めネジを締めて固定します（❸）。

一脚座（付属アクセサリー）

・このレンズには、標準装備の三脚座を使用頻度に合わせて一脚座に交換できます。

・これらの交換されて来る、ネジの締めがけが不ぶりなどネスジが緩んで事故や破損などの原因になるおそれがありますので充分ご注意ください。

・一脚座への交換については、ニコンサービス機関へご相談されることをおすすめします。

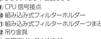
■ セキュリティースロットについて

市販の盗難防止用セキュリティーワイヤーを取り付けることができます。取り付けはセキュリティーワイヤーの説明書をご覧ください。

■ フィルターについて

撮影の際は、必ずフィルターをお使いください（お買いと上げ時、NC フィルターが装着されています）。

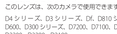
フィルターの交換方法



① **組み込み式フィルターホルダーを、つまみの白い線標が組み込み式フィルターホルダーと平行になるよう反時計方向に回す**

② **組み込み式フィルターホルダーを抜き取る**

③ **新規フィルターをセットする**



④ **40.5mm ネジ込みフィルターを、Nikon JAPAN の表示がある面よりのほうに**

・組み込みフィルターホルダーは、カメラ側または被写体側のどちらの側に向けて取り付けても、撮影に影響はありません。

別売の組み込み式円偏光フィルター C-PL405 について

・ガラスなどの非金属面から水面反射光を カットする場合に有効です。

・付属の組み込み式フィルターホルダーを入れて使用します。

・レンズ〜の装着は確実に行ってください。防塵、防滴構造はなっておりませんのでご注意ください。

・距離目盛は正常な位置からずれ、最短近付けずに長くなります。

・メモリーリコールを使用する場合は、ピントを記憶させる前に装着してください。

・高温、高湿下および直射日光が当たる場所での長時間の保管は避けてください。

■ レンズのお手入れと取り扱いしかの注意

・レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。

・レンズをカメラに装着した状態で、カメラ内部を持たないでください。カメラ（マウント部分）破損故障それ印刷ですので、必ずレンズを持ってください。

・フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持ないでください。

・CPU 信号接点は汚れないように注意ください。

・レンズマウント、コレンズが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。

・レンズ面の清掃は、ホコリを払う程度にしてください。

・レンズ面に指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーを少量の無水エタノール（エタノール）または専用のレンズクリーナーで使ったは、レンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。

・最初面のレンズ面はフッ素コート加工されています。軽いたたで軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーでレンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。（汚れひどい場合は、柔らかい中性中量の清水、無水アルコール（エタノール）、または専用のレンズクリーナーで使って、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、指水性、撥油性が強いため、水滴が拭き残りが生じることがあります。その場合は、軽いたたで拭き取ってください。

・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズをケースに入れるときは、必ずカバ付けはレンズキャップと兼ねたを取り付けてください。

・レンズを長期間使用しないときは、カビやクモを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防湿剤のあるところも避けてください。

・レンズをまこのらず、部品がサビこなるとして故障の原因となりますのでご注意ください。

・ストーブの近くは、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

・レンズを明い場所から暗い場所、または暗い場所から明い場所に移ろうとは、レンズ内外に急激な明るさの変化の原因となります。温度差のある場所にレンズを持ちこむときは、あらかじめレンズをバッグやビニール袋などに入れて密閉してください。レンズが周囲の温度になじんだら、袋から取り出して取り扱ってください。

・付属のカバ付きはレンズキャップは、折り曲げるとプッシ状態にしますが使用上の問題はありません。

・危険ですので、付属のケースの上に座ったり、乗ったりしないでください。

・セキュリティーワイヤーに関して、万一の破損・盗難の際の補償はご容赦ください。

■ 付属アクセサリー

・かぶせ式レンズキャップ

・裏ぶた：LF-4

・かぶせ式ボディキャップ：BF-1A

・組み込み式フィルターホルダー

・40.5mm ネジ込みタイプ NC フィルター

・ストラップ：LN-2

・トランクケース：CT-608

・一脚座

■ 使用できるカメラ

このレンズは、次のカメラで使用できます。

D4 シリーズ、D3 シリーズ、D4、D810 シリーズ、D800 シリーズ、D750、D700、D610、D600、D300 シリーズ、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200、D3100

・使用可能なカメラの詳しくは最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。

・カメラのフォーカスモードにしては、カメラの説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード		
	A/M	M/A	M
AF	オート優先オートフォーカス	マニュアル優先オートフォーカス	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）		

■ 被写界深度

・プレビュー（絞り込み）機能を持つカメラでは、撮影前にファインダーので被写界深度を確認できます。

■ 絞り値の設定

・絞り値は、カメラ側で設定してください。

・絞り値によっては、連続撮影速度が低下する場合があります。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 4.0 段（NORMAL モード使用時）シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲がひろがります。

※CPU 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットデジタル一眼しで使用時、DX レンズは DX フォーマットデジタル一眼しで使用時、ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正スイッチの使い方

OFF：手ブレ補正をしません。

NORMAL：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する時などに適しています。

SPORT：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。スポーツなど動きの安定した激しい被写体を撮影する場合に適しています。

手ブレ補正使用時のご注意

・シャッターボタンを半押し、後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。

・手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがあります。異常ではありません。

・流し撮りには、NORMAL モードと SPORT モードどちらも対応していますが、SPORT モードにすることを推奨しております。

・NORMAL モードおよび SPORT モードに流し撮りなどをしてカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレ補正が機能します。

・手ブレ補正中にカメラの電源を OFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを装着とカメラが動作するとレンズが動き、故障するおそれがあります）。

・内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電時は、手ブレ補正は行いません。

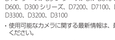
・三脚撮影時に NORMAL モードまたは SPORT モードにすると、三脚ブレを軽減します。ただし、三脚の種類や撮影条件によっ、OFF にした方が良い場合があります。

・一般を使用するときは、NORMAL モードまたは SPORT モードにすることをおすすめします。

■ フードの使い方

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護に役立ちます。

取り付け方



・クランプノブをしっかり締めてください。

・フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

・広角側はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

・フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。

・広角側はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ 組み込み式回転三脚座の使い方

三脚は、カメラ側の三脚座に取り付けます。

・三脚の取付によっては、カメラのボディ下部をふた状態でカメラを回転した際、三脚に手がぶつかることがありますので、ご注意ください。

・三脚座の座部のとめネジを外すことによって、座部を取り外すことができます。詳しくは、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

カメラ位置の変更

レンズの三脚座リング止めネジを少し緩め（❶）、カメラ位置（縦／横）に応じてレンズ回転位置座標を合わせ（❷）、三脚座リングを止めネジを締めて固定します（❸）。

一脚座（付属アクセサリー）

・このレンズには、標準装備の三脚座を使用頻度に合わせて一脚座に交換できます。

・これらの交換されて来る、ネジの締めがけが不ぶりなどネスジが緩んで事故や破損などの原因になるおそれがありますので充分ご注意ください。

・一脚座への交換については、ニコンサービス機関へご相談されることをおすすめします。

■ セキュリティースロットについて

市販の盗難防止用セキュリティーワイヤーを取り付けることができます。取り付けはセキュリティーワイヤーの説明書をご覧ください。

■ フィルターについて

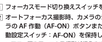
撮影の際は、必ずフィルターをお使いください（お買いと上げ時、NC フィルターが装着されています）。

フィルターの交換方法

① **組み込み式フィルターホルダーを、つまみの白い線標が組み込み式フィルターホルダーと平行になるよう反時計方向に回す**

② **組み込み式フィルターホルダーを抜き取る**

③ **新規フィルターをセットする**



④ **40.5mm ネジ込みフィルターを、Nikon JAPAN の表示がある面よりのほうに**

・組み込みフィルターホルダーは、カメラ側または被写体側のどちらの側に向けて取り付けても、撮影に影響はありません。

別売の組み込み式円偏光フィルター C-PL405 について

・ガラスなどの非金属面から水面反射光を カットする場合に有効です。

・付属の組み込み式フィルターホルダーを入れて使用します。

・レンズ〜の装着は確実に行ってください。防塵、防滴構造はなっておりませんのでご注意ください。

・距離目盛は正常な位置からずれ、最短近付けずに長くなります。

・メモリーリコールを使用する場合は、ピントを記憶させる前に装着してください。

・高温、高湿下および直射日光が当たる場所での長時間の保管は避けてください。

■ レンズのお手入れと取り扱いしかの注意

・レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。

・レンズをカメラに装着した状態で、カメラ内部を持たないでください。カメラ（マウント部分）破損故障それ印刷ですので、必ずレンズを持ってください。

・フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持ないでください。

・CPU 信号接点は汚れないように注意ください。

・レンズマウント、コレンズが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。

・レンズ面の清掃は、ホコリを払う程度にしてください。

・レンズ面に指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーを少量の無水エタノール（エタノール）または専用のレンズクリーナーで使ったは、レンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。

・最初面のレンズ面はフッ素コート加工されています。軽いたたで軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーでレンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。（汚れひどい場合は、柔らかい中性中量の清水、無水アルコール（エタノール）、または専用のレンズクリーナーで使って、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、指水性、撥油性が強いため、水滴が拭き残りが生じることがあります。その場合は、軽いたたで拭き取ってください。

・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズをケースに入れるときは、必ずカバ付けはレンズキャップと兼ねたを取り付けてください。

・レンズを長期間使用しないときは、カビやクモを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防湿剤のあるところも避けてください。

・レンズをまこのらず、部品がサビこなるとして故障の原因となりますのでご注意ください。

・ストーブの近くは、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

・レンズを明い場所から暗い場所、または暗い場所から明い場所に移ろうとは、レンズ内外に急激な明るさの変化の原因となります。温度差のある場所にレンズを持ちこむときは、あらかじめレンズをバッグやビニール袋などに入れて密閉してください。レンズが周囲の温度になじんだら、袋から取り出して取り扱ってください。

・付属のカバ付きはレンズキャップは、折り曲げるとプッシ状態にしますが使用上の問題はありません。

・危険ですので、付属のケースの上に座ったり、乗ったりしないでください。

・セキュリティーワイヤーに関して、万一の破損・盗難の際の補償はご容赦ください。

■ 付属アクセサリー

・かぶせ式レンズキャップ

・裏ぶた：LF-4

・かぶせ式ボディキャップ：BF-1A

・組み込み式フィルターホルダー

・40.5mm ネジ込みタイプ NC フィルター

・ストラップ：LN-2

・トランクケース：CT-608

・一脚座

■ 使用できるカメラ

・40.5mm ネジ込みタイプフィルター

・組み込み式円偏光フィルター C-PL405

・AF-I/AF-S テレコンバーター TC-14E / TC-14E Ⅱ / TC-14E Ⅲ / TC-17E Ⅱ / TC-20E / TC-20E Ⅱ / TC-20E Ⅲ

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 E タイプ、AF-S レンズ
焦点距離	600mm
最大口径比	1：4
レンズ構成	12 群 16 枚(ED レンズ 4 枚、球状レンズ 2 枚、フッ化リン酸ガラス 1 枚)、低保護ガラス 1 枚（フッ素コート有）。
画角	4°10′（FX フォーマットのデジタル一眼しフルスラ） 2°40′（DX フォーマットのデジタル一眼しフルスラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	AF（ニコン内蔵）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
テブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	∞～4.4 m
最短撮影距離	撮像面から 4.4 m
絞り羽根枚数	9 枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	f/4～22
測光方式	開放測光
フォーカス制限切り換えスイッチ	FULL（∞～4.4 m）と∞～10 m の 2 段切り換え
寸法	約 166 mm（最大径）× 432 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 3810 g

※仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

サービスとサポート

修理サービスのご案内

ニコンサービジャパン修理センターです。
下記のホームページからお申込みいただけます。
https://www.nikon-image.com/support/repair/

・コンパクトデジタルカメラ・ビデオカメラ・ピンホールカメラ・ニコンスポーツオプティクスの場合は、ニコンスポーツオプティクスのホームページからお申込みください。

■ お電話でのお申込み

お電話でもニコンイメージングアップサービスをご利用いただけます。詳細については、上記のホームページをご覧ください。

ニコンイメージングアップサービス専用 フリーダイヤル
0120-02-8155

■ サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお預かり・受付をいたします。インターネットで事前予約が必要となります。詳細については、上記のホームページをご覧ください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター
0570-02-8200

・営業時間などの詳細については、下記のホームページをご覧ください。
https://www.nikon-image.com/support/repair/

・インターネットでご予約をされない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。ギャラリーでの事前予約が必要となります。詳細については、下記のホームページをご覧ください。

ニコンプラザショールーム ナゴヤイケ
0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター ナゴヤイケ
0570-02-8060

・音声ガイダンスにしたがってご利用ください。

・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03) 6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記 URL をご覧ください。
https://www.nikon-image.com/support/showroom/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■ インターネットでのお問い合わせ
https://www.nikon-image.com/support/contact/

■ お電話でのお問い合わせ

ニコンカスタマーサポートセンター ナゴヤイケ
0570-02-8000

・営業時間などの詳細については、上記のホームページをご覧ください。

・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03) 6702-0577 におかけください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンで製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。ニコンイメージング会員登録および製品登録は下記ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内
https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

ニコンイメージングサポートページのご案内

https://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご無いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

別売の組み込み式円偏光フィルター C-PL405 について

・ガラスなどの非金属面から水面反射光を カットする場合に有効です。

・付属の組み込み式フィルターホルダーを入れて使用します。

・レンズ〜の装着は確実に行ってください。防塵、防滴構造はなっておりませんのでご注意ください。

・距離目盛は正常な位置からずれ、最短近付けずに長くなります。

・メモリーリコールを使用する場合は、ピントを記憶させる前に装着してください。

・高温、高湿下および直射日光が当たる場所での長時間の保管は避けてください。

■ レンズのお手入れと取り扱いしかの注意

・レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。

・レンズをカメラに装着した状態で、カメラ内部を持たないでください。カメラ（マウント部分）破損故障それ印刷ですので、必ずレンズを持ってください。

・フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持ないでください。

・CPU 信号接点は汚れないように注意ください。

・レンズマウント、コレンズが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。

・レンズ面の清掃は、ホコリを払う程度にしてください。

・レンズ面に指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーを少量の無水エタノール（エタノール）または専用のレンズクリーナーで使ったは、レンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。

・最初面のレンズ面はフッ素コート加工されています。軽いたたで軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。指紋がついたときは、柔らかい高潔な本綿の布または専用のレンズクリーニングペーパーでレンズのわからから外周へ清拭き状に、拭きムラ、拭き残りがないように注意して拭いてください。（汚れひどい場合は、柔らかい中性中量の清水、無水アルコール（エタノール）、または専用のレンズクリーナーで使って、軽く拭き取ってください。フッ素コート加工されたレンズ面は、指水性、撥油性が強いため、水滴が拭き残りが生じることがあります。その場合は、軽いたたで拭き取ってください。

・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズをケースに入れるときは、必ずカバ付けはレンズキャップと兼ねたを取り付けてください。

・レンズを長期間使用しないときは、カビやクモを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防湿剤のあるところも避けてください。

・レンズをまこのらず、部品がサビこなるとして故障の原因となりますのでご注意ください。

・ストーブの近くは、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

・レンズを明い場所から暗い場所、または暗い場所から明い場所に移ろうとは、レンズ内外に急激な明るさの変化の原因となります。温度差のある場所にレンズを持ちこむときは、あらかじめレンズをバッグやビニール袋などに入れて密閉してください。レンズが周囲の温度になじんだら、袋から取り出して取り扱ってください。

・付属のカバ付きはレンズキャップは、折り曲げるとプッシ状態にしますが使用上の問題はありません。

・危険ですので、付属のケースの上に座ったり、乗ったりしないでください。

・セキュリティーワイヤーに関して、万一の破損・盗難の際の補償はご容赦ください。

■ 付属アクセサリー

・かぶせ式レンズキャップ

・裏ぶた：LF-4

・かぶせ式ボディキャップ：BF-1A

・組み込み式フィルターホルダー

・40.5mm ネジ込みタイプ NC フィルター

・ストラップ：LN-2

・トランクケース：CT-608

・一脚座

■ 使用できるカメラ

・40.5mm ネジ込みタイプフィルター

・組み込み式円偏光フィルター C-PL405

・AF-I/AF-S テレコンバーター TC-14E / TC-14E Ⅱ / TC-14E Ⅲ / TC-17E Ⅱ / TC-20E / TC-20E Ⅱ / TC-20E Ⅲ

■ 仕様

型式	ニコン F マウント CPU 内蔵 E タイプ、AF-S レンズ
焦点距離	600mm
最大口径比	1：4
レンズ構成	12 群 16 枚(ED レンズ 4 枚、球状レンズ 2 枚、フッ化リン酸ガラス 1 枚)、低保護ガラス 1 枚（フッ素コート有）。
画角	4°10′（FX フォーマットのデジタル一眼しフルスラ） 2°40′（DX フォーマットのデジタル一眼しフルスラ）
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ピント合わせ	AF（ニコン内蔵）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
テブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	∞～4.4 m
最短撮影距離	撮像面から 4.4 m
絞り羽根枚数	9 枚（円形絞り）
絞り方式	電磁絞りによる自動絞り
絞りの範囲	f/4～22
測光方式	開放測光
フォーカス制限切り換えスイッチ	FULL（∞～4.4 m）と∞～10 m の 2 段切り換え
寸法	約 166 mm（最大径）× 432 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約 3810 g

※仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

M/A and A/M Modes

・**M/A**: Autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring.

・**A/M**: As above, except that the focus ring must be rotated farther before autofocus is over-ridden, preventing accidental changes to focus caused by unintended operation of the focus ring.

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.

2 Focus.

If desired, autofocus can be over-ridden by rotating the lens focus ring while the shutter-release button is pressed halfway (or if the camera is equipped with an **AF-ON** button, while the **AF-ON** button is pressed, or if the focus function selector is set to **AF-ON**, while pressing a focus function button). To refocus using autofocus, press the shutter-release button halfway and press the **AF-ON** or focus function button again.

The Focus Limit Switch

This switch determines the focus distance limits for autofocus.

・**FULL**: Select this option to use the entire focus range.

・**∞～10m**: If your subject will always be at distance of at least 10 m (32.8 ft), select this option for faster focusing.

■ The Focus Functions Buttons and Selector

The function assigned to the focus functions buttons can be selected using the focus function selector.

Focus function selector	Focus function button
AF-L	Focus lock
MEMORY RECALL	Memory recall
AF-ON	Lens AF start

・The assigned function can be performed by pressing any of the four focus function buttons.

・To have the focus function buttons moved (rotated) to a new position, contact Nikon-authorized service personnel.

Focus Lock (AF-L)

Focus lock is only available with autofocus.

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.

2 Slide the focus function selector to **AF-L**.

3 Lock focus.

Focus can be locked by pressing any of the focus function buttons and remains locked while the button is pressed. Focus can also be locked using camera controls.

Memory Recall

Save and recall frequently-used lens focus positions.

Saving Focus Positions

1 Slide the beep on/off switch to ♪.

2 Focus.

3 Press the memory set button.

This operation can be performed in any focus mode regardless of the position of the focus function selector. A beep will sound if the operation is successful. If the operation fails, the focus distance indicator will revolve back and forth for about 2 seconds and the lens will sound a short beep followed by three long beeps. Focus and press the memory set button again. The stored distance is not deleted if the camera is turned off or the lens is removed.

Using Stored Focus Positions

1 Slide the focus function selector to **MEMORY RECALL**.

2 **Recall the stored focus distance.**

Press any of the focus function buttons to focus at the stored distance. The camera will refocus at the stored distance even when the shutter-release button is pressed halfway; normal focus is restored when the focus function button is released. Keep the focus function button pressed until the photograph is taken.

The Beep on/off Switch

The beep on/off switch can be used to enable or mute the beep that sounds during memory set and recall operations.

・♪: Beep enabled.

・: Beep muted.

AF Start (AF-ON)

1 Slide the lens focus-mode switch to **A/M** or **M/A**.

2 Slide the focus function selector to **AF-ON**.

3 Focus.

Press any of the focus function buttons to focus using autofocus. You can also focus using camera controls.

■ Depth of Field

If the camera offers depth-of-field preview (stop down), depth of field can be previewed in the viewfinder.

■ Aperture

Aperture is adjusted using camera controls. The frame rate may drop at some apertures.

■ Vibration Reduction (VR)

Vibration reduction (VR) reduces blur caused by camera shake, allowing shutter speeds up to 4.0 stops slower than would otherwise be the case, increasing the range of shutter speeds available. The effects of VR on shutter speed are measured in NORMAL mode according to **Camera** and **I**maging **P**roducts **A**ssociation (CIPA) standards. FX-format lenses are measured using FX-format digital cameras, DX-format lenses using DX-format cameras. Zoom lenses are measured at maximum zoom.

Using the Vibration Reduction Switch

・**Select OFF** to turn vibration reduction off.

・**Select NORMAL** for enhanced vibration reduction when photographing stationary subjects. Vibration reduction takes effect when the shutter-release button is pressed halfway.

・**Select SPORT** photographing athletes and other subjects that are moving rapidly and unpredictably. Vibration reduction takes effect when the shutter-release button is pressed halfway.

Using Vibration Reduction: Notes

・When using vibration reduction, press the shutter-release button halfway and wait for the image in the viewfinder to stabilize before pressing the shutter-release button the r

Nikon

NIKKOR

AF-S NIKKOR 600mm f/4E FL ED VR

Sc 使用说明书
Pb Manual do usuário
Kr 사용설명서
Jp 使用説明書
En User's Manual
Fr Manuel d'utilisation
Es Manual del usuario

NIKON CORPORATION

CE

中文版（简体）

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读这些指南和照相机的说明书。

注意：当安装在一台 DX 格式数码单镜反光照相机（例如 D7200 或 D5500）上时，该镜头的视角为 2° 40′ 且焦距相当于 900mm（35mm 格式）。

安全须知

为预防发生伤害、损失或其他事故，请在使用本产品前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。请在阅读之后妥善保管本说明书，以便随时查阅。

⚠ **警告**（有可能造成人员死亡或负重伤的事项）

⚠ **注意**（有可能造成人身伤害或物品损害的事项）

图示和符号的实例

⃠ 禁止（不允许进行的行为）符号。

❗ 执行（必须进行的行为）符号。

⚠ **警告**

⃠ 禁止 **切勿自行拆解、修理或改装。**

⃠ 禁止 **当产品由于跌落而被损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部分。**
否则将会导致触电或受伤。
当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机中的电池或切断照相机电源（电源适配器）。

❗ 执行 若放任不管，将会导致起火或烧伤。
取出电池或切断电源时，请小心烧烫伤。
请委托尼康授权的维修服务中心进行修理。

⃠ 禁止 **切勿使产品被水淋湿。**

⃠ 禁止 **切勿用手触碰。**
否则将导致触电或起火。

⃠ 禁止 **切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。**
在液化石油气站、汽油加油站等会产生易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致起火或爆炸。

⃠ 禁止 **切勿使用镜头或照相机直接观察太阳或强光。**
否则将会导致失明或视觉损伤。

⚠ **注意**

⃠ 禁止 **切勿在婴幼儿伸手可及之处保管本产品。**
否则将会导致受伤或窒息。
进行背光拍摄时，务必使太阳完全位于画面外。
不使用时，请盖上镜头盖，或者存放在没有阳光照射处。
阳光会聚焦，并将导致起火。
切勿置于高温的地方（如夏天封闭的车内或直射阳光处）。

⃠ 禁止 **切勿将产品用手触或毛巾包裹着使用。**
否则将会导致烫伤或起火。

■ 镜头部件

⑦ 橡胶手柄
⑧ 对焦功能按钮（对焦锁定/调用记忆/AF 启用）
⑨ 对焦环
⑩ 对焦距离指示
⑪ 对焦距离标记
⑫ 镜头旋转标记
⑬ 镜头安装标记
⑭ 镜头卡口橡胶垫圈
⑮ CPU 接点
⑯ 插入式滤镜支架
⑰ 插入式滤镜支架齿圈
⑱ 吊带孔
⑲ 三脚架固定环安装齿圈
⑳ 内置旋转式三脚架固定座
㉑ 对焦模式切换器
㉒ 对焦限制切换器
㉓ 减震开关
㉔ 对焦功能选择器（AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON）
⑲ 蜂鸣音开启 / 关闭开关
⑳ 记忆设定按钮
㉑ 安全槽（用于安全线锁扣）
㉒ 镜头遮光罩
㉓ 镜头遮光罩齿圈
㉔ 可更换单脚架固定环

■ 兼容性

本镜头适用于 D4 系列、D3 系列、Df、D810 系列、D800 系列、D750、D700、D610、D600、D300 系 列、D7200、D7100、D7000、D5500、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3200 和 D3100 照相机。有关兼容照相机的最新信息，请参阅我们最新的产品目录或访问本地尼康网站。

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机使用说明书）。

照相机对焦模式	镜头对焦模式		
	A/M	M/A	M
AF	手动优先的自动对焦（AF 优先）	手动优先的自动对焦（手动优先）	带有电子测距仪的手动对焦
MF	带有电子测距仪的手动对焦		

A/M 和 M/A 模式

- **M/A**：通过旋转镜头对焦环可使手动对焦优先于自动对焦。
- **A/M**：手动对焦优先于自动对焦之前必须继续旋转对焦环，从而防止因无意间操作对焦环而引起对焦意外改变，除此之外，其他与上述相同。

1 将**镜头对焦模式切换器**推至 **A/M** 或 **M/A**。
2 对焦。
如有需要，您可在半按快门释放按钮期间（或者，若照相机配备有一个 **AF-ON** 按钮，则在按下 **AF-ON** 按钮期间）对焦功能选择器设为 **AF-ON**，便是在按下对焦功能按钮期间）旋转镜头对焦环使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请半按快门释放按钮或者再次按下 **AF-ON** 按钮或对焦功能按钮。

对焦限制切换器

该切换器决定自动对焦的对焦距离极限值。

- FULL（全部）：选择该选项可使用整个对焦范围。
- ∞ –10m：若拍摄对象总是位于至少 10 m 的距离处，选择该选项可获得更快的对焦。

■ 对焦功能按钮和选择器

使用对焦功能选择器可选择指定给对焦功能按钮的功能。

对焦功能选择器	对焦功能按钮
AF-L	对焦锁定
MEMORY RECALL	调用记忆
AF-ON	镜头 AF 启用

- 按下 4 个对焦功能按钮中的任意一个即可执行指定的功能。
- 若要将对焦功能按钮移动（旋转）至新的位置，请与尼康售后服务中心或尼康特约维修店联系。

对焦锁定（AF-L）

对焦锁定仅适用于自动对焦。

1 **将镜头对焦模式切换器推至 A/M 或 M/A**。
2 **将对焦功能选择器推至 AF-L**。
3 **锁定对焦。**
按下任一对焦功能按钮即可锁定对焦，按住到可保持锁定。使用照相机控制也可锁定对焦。

调用记忆

保存和启用常用镜头对焦位置。

保存对焦位置

1 **将蜂鸣音开启 / 关闭开关滑至 ♪**。
2 **对焦。**
3 **按下记忆设定按钮。**
不论对焦功能选择器处于何种位置，您都可在任何对焦模式下进行该操作。操作成功时会发出蜂鸣音。若操作失败，对焦距离指示将会来回循环大约 10 次，并且镜头将会发出 1 声短蜂鸣音。随后发出 3 声长蜂鸣音；请再次对焦并按下记忆设定按钮。若照相机已关闭或镜头被取下，保存的距离将不会删除。

使用保存的对焦位置

1 **将对焦功能选择器推至 MEMORY RECALL**。
2 **调用保存的对焦距离。**
按下任一对焦功能按钮以保存的距离进行对焦。即使半按快门释放按钮，照相机也会以保存的距离重新对焦；释放对焦功能按钮时将恢复通常对焦。请保持按下对焦功能按钮直至拍摄完照片。

蜂鸣音开启 / 关闭开关

蜂鸣音开启 / 关闭开关可用于开启或关闭记忆设定和调用记忆操作过程中发出的蜂鸣音。

- ♪：蜂鸣音开启。
- 🔕：蜂鸣音关闭。

AF 启用（AF-ON）

1 **将镜头对焦模式切换器推至 A/M 或 M/A**。
2 **将对焦功能选择器推至 AF-ON**。
3 **对焦。**
按下任一对焦功能按钮使用自动对焦进行对焦。您也可使用照相机控制进行对焦。

■ 景深

若照相机支持景深预览（光圈缩小），景深在取景器中进行预览。

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。在某些光圈下，每秒幅数可能会降低。

■ 减震（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低 4 档。同时增加可用快门速度的范围。减震对快门速度的影响是在 **NORMAL**（标准）模式下根据相机影像器材工业协会（CIPA）标准所测量：测量 FX 格式镜头时使用的是 FX 格式数码照相机，测量 DX 格式镜头时使用的是 DX 格式照相机。变焦镜头是在最大变焦设定下进行的测量。

使用减震开关

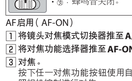
- 选择 **OFF**（关闭）可关闭减震。
- 选择 **NORMAL**（标准）可在拍摄静止拍摄对象时增强减震。半按快门释放按钮时减震生效。
- 选择 **SPORT**（运动）可拍摄运动员和其他正在进行迅速且不可预测运动的拍摄对象。半按快门释放按钮时减震生效。

使用减震：注意

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，然后待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 启用减震时，取景器中的图像在您释放快门后可能会变得模糊。这并非故障。
- 转动照相机进行拍摄时推荐使用 **SPORT**（运动）。但同时也支持 **NORMAL**（标准）。
- 在 **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）模式下，减震仅应用于非转动部分的动作（例如，若照相机进行水平转动，减震将仅应用于垂直方向的震动）。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机。也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摇动时将可能发出嘎嘎声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）减震可在照相机固定于三脚架时减少模糊。但是照搬三脚架型和扭摇环境的不同，选择 **OFF**（关闭）可能会产生更好的效果。
- 照相机固定于单脚架时推荐使用 **NORMAL**（标准）和 **SPORT**（运动）。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致眩光或鬼影的散射光线。



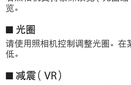
完全拧紧遮光罩齿圈（❷）。

若未正确安装好遮光罩，将可能会产生渐晕。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 使用内置旋转式三脚架固定环

请将三脚架安装至镜头三脚架固定环而不是照相机。请注意，握住操作手柄旋转照相机时，您的手可能会触碰到三脚架。拧松三脚架固定环锁定齿圈可取下三脚架固定环：有关详细信息，请与尼康授权的维修服务中心联系。

重新定位照相机



拧松三脚架固定环安装齿圈（❶）。使镜头旋转标记（❷）与照相机方向一致，然后拧紧齿圈（❸）。

单脚架固定环

附送的可更换单脚架固定环可代替三脚架固定环使用。更换固定环之后，请确认固定环锁完全拧紧，否则可能会损坏镜头或照相机。

■ 安全槽

安全槽可用于安装第三方安全线锁扣。有关详细信息，请参阅安全线锁扣随附的文档。

■ 滤镜

当使用插入式滤镜支架拍摄照片时，请确认已插入滤镜，支架附带开已安装好一片中性色彩（NC）滤镜。

插入滤镜

1 **解除支架的锁定。**
将插入式滤镜支架齿圈向下按并逆时针旋转，直至白线与镜头轴成直角。
2 **取下插入式滤镜支架。**
3 **取下附带的滤镜。**
4 **将 40.5mm 旋入式滤镜旋入支架上标有“Nikon”和“JAPAN”的一边。**
随后您即可以面向拍摄对象或照相机的方向重新插入支架。

使用及购物插入式 C-PL405 圆形偏振镜

C-PL405 可用于阻挡来自玻璃、水面和其他非金属表面的不必要反射。不需要插入式滤镜支架：使用滤镜时，请确保其牢固安装，并清洁意，该滤镜不具备防尘和防溅性能。请注意，使用 C-PL405 会稍增加最近对焦距离，并稍改变对焦距离指示所示的对焦距离。使用调用记忆时，请务必在存储对焦位置之前安装好滤镜。

切勿将 C-PL405 长时间置于直射阳光下，也不要置于过湿或高温场所。

■ 镜头保养

- 镜头从照相机取下后会恢复至最大光圈，为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方，或者重新盖上镜头盖。
- 持象照相机的任何时候都需要支撑镜头，否则可能会损坏镜头卡口。
- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持 CPU 接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康授权的维修服务中心进行维修。
- 用吹气球去除镜头表面的灰尘和浮屑。
- 若要去除玻璃表面的污点和指纹，可使用一块清有少许乙醇或镜头清洁剂的干净软棉布或镜头清洁纸，以圆周运动方式从里向外进行清洁。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃。
- 带有氟涂层的前部组件可简单地使用干布进行清洁。污点和指纹可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸去除：请注时以圆周运动方式从里向外擦拭。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃表面。清除顽固污渍，请使用一块沾有少许蒸馏水、乙醇或镜头清洁剂的软布轻轻擦拭。拒水、拒油的氟涂层组件上的清状污渍可使用干布去除。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 将镜头放入镜头套之前，请先盖好后盖和插入式前盖。
- 若在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥，内部构造生锈将导致无法换回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 将镜头从温暖的环境带入寒冷的环境或从寒冷的环境带入温暖的环境，可能导致镜头内外部结露以致损坏。携带镜头经过温度边界之前，请将镜头置于密封包内或塑料袋中，镜头一旦适应了新的温度环境，您即可从密封包或塑料盒中将其取出。
- 折叠附送的插入式前盖会产生折痕，但这并不妨碍盖子的使用。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。
- 切勿坐在或站在镜头外壳上。
- 若使用安全线保护的设备被拱环或被盗，尼康不承担法律责任。

■ 随附配件

- 插入式镜头前盖
- 镜头后盖 LF-4
- 镜头遮光罩 HK-40
- 插入式滤镜支架
- 40.5 mm 旋入式 NC 滤镜
- 吊带 LN-2
- 附重外壳 CT-608
- 单脚架固定环

■ 兼容的配件

- 40.5 mm 旋入式滤镜
- 插入式圆形偏振滤镜 C-PL405
- AF-I/AF-S 望远信号增强器 TC-14E/TC-14E II/TC-14E III/TC-17E II/TC-20E/TC-20E II/TC-20E III

■ 技术规格

类型	带内置 CPU 和 F 卡口的 E 型 AF-S 镜头
焦距	600mm
最大光圈	f/4
镜头结构	12 组 16 片（包括 4 枚 ED 镜片组件、2 枚萤石组件以及荣誉纳米结晶涂层的镜片组件）、1 枚保护玻璃组件（带有氟涂层）
视角	• 尼康 FX 格式数码单镜反光照相机：4° 10′ • 尼康 DX 格式数码单镜反光照相机：2° 40′
距离信息	输出到照相机
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，具备用于手动对焦的独立对焦环）
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
对焦距离指示	4.4 m – ∞
最近对焦距离	约 4.4 m（至焦平面）
光圈叶片	9 片（圆形光圈孔）
光圈	自动电子光圈控制
光圈范围	f/4 – 22
测光	全开光圈测光
对焦限制切换器	两段位置：FULL（全部）（∞ – 4.4 m）和 ∞ – 10 m
尺寸	约 166 mm（最大直径）×432 mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约 3810 g

尼康公司保留可随时更改说明书内载之硬件规格的权利，而无须事先通知。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市蒙自路 757 号歌斐中心 12 楼 01-07 室 邮编：200023）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日 9:00 – 18:00，除夕下午休息）
https://www.nikon.com.cn/

在日本印刷
出版日期：2021 年 1 月 1 日

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
⑩	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T26572 规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有含物质使用限制指令 2011/65/EU》的豁免范围之内。

保留备用

Português (Brasil)

Antes de usar este produto, leia cuidadosamente estas instruções e o manual de referência da câmera.

Nota: Quando fixada em uma câmera DX, a lente tem um ângulo de visão de 2° 40′ e uma distância focal equivalente a 900 mm (formato 35 mm).

Para sua segurança

⚠ **AVISOS**

- *Não desmonte nem modifique.* Em caso de mau funcionamento, o produto deve ser reparado apenas por um técnico qualificado. Caso o produto se parte e abra como resultado de uma queda ou outro acidente, evite tocar nas partes expostas. A não observância destas precauções poderá resultar em choque elétrico ou outras lesões.
- *Desligue imediatamente a câmera em caso de mau funcionamento.* Caso você note fumaça ou um odor estranho vindo do equipamento, desligue imediatamente o adaptador AC e remova a bateria da câmera, tomando cuidado para evitar queimaduras. A continuação da operação pode resultar em incêndio ou lesões. Após remover a bateria, leve o equipamento a uma assistência técnica autorizada Nikon para inspeção.
- *Mantenha seco.* Não exponha o produto à água nem manuseie com as mãos molhadas. A não observância desta precaução poderá resultar em incêndio ou choque elétrico.
- *Não use na presença de gás inflamável.* Operar o equipamento em postos de abastecimento ou na presença de propano ou outros gases inflamáveis ou poeira poderá resultar em explosão ou incêndio.
- *Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera.* A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar lesões oculares permanente.

⚠ **PRECAUÇÕES**

- *Mantenha longe do alcance de crianças.* Os acessórios abaixo descritos devem ser mantidos longe do alcance das crianças. A não observância desta precaução poderá resultar em lesões ou mau funcionamento do produto.
- *Não fixar a alça do sol através do anel da lente.* A alça do sol pode ficar presa e causar lesões em caso de queda.
- *Não olhe para o sol através da lente ou do visor da câmera.* A observação do sol ou de outra fonte de luz intensa através da lente ou do visor pode causar lesões oculares permanente.

Cuidado para não deixar cair.

Não exponha a lente a fontes de calor.

Não deixe a lente em locais com temperatura elevada, como dentro de um carro fechado sob a luz direta do sol.

Não cubra a lente enquanto ela estiver em uso. A não observância destas precauções poderá resultar em incêndio ou mau funcionamento do produto.

Aviso para os Clientes no Canadá

CAN ICES-3 B / NMB-3 B

■ Partes da lente

① Empunhadura de borracha
② Botão de fixação do foco (trava de foco/recuperação da memória/início de AF)
③ Anel de foco
④ Indicador de distância de foco
⑤ Marca de distância de foco
⑥ Índice de rotação da lente
⑦ Marca de montagem da lente
⑧ Gaxeta de borracha de fixação da lente
⑨ Contatos CPU
⑩ Suporte de filtro de encaixe
⑪ Parafuso do suporte de filtro de encaixe
⑫ Ilhós da alça
⑬ Parafuso de fixação do anel da gola do tripé
⑭ Gola rotativa embutida do tripé
⑮ Chave de modo de foco
⑯ Chave de limite de foco
⑰ Chave de redução de vibração
⑱ Seletor de função de foco (AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON)
⑲ Chave liga/desliga do bipe
⑳ Botão de ajuste da memória
㉑ Ranhura de segurança (para trava do cabo de segurança)
㉒ Parassol da lente
㉓ Parafuso do parassol da lente
㉔ Gola móvel do monopé

■ Compatibilidade

Esta lente pode ser usada com câmeras série D4, série D3, Df, série D810, série D800, D750, D700, D610, D600, série D300, D7200, D7100, D7000, D5500, D5300, D5200, D5100, D5000, D3300, D3200 e D3100. Para informações atualizadas sobre as câmeras compatíveis, consulte os nossos últimos catálogos ou visite o site da Nikon.

■ Foco

Os modos de foco suportados são apresentados na tabela seguinte (para informação sobre os modos de foco, consulte o manual da câmera).

Modo de foco da câmera	Modo de foco da lente		
	A/M	M/A	M
AF	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade AF)	Foco automático com preferência para ajuste manual (prioridade manual)	Foco manual com telemetria eletrônica
MF	Foco manual com telemetria eletrônica		

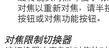
Modos A/M e M/A

- **M/A**: o foco automático pode ser ignorado girando o anel de foco da lente.
- **A/M**: como acima, exceto que o anel de foco tem que ser rodado ainda mais antes do foco automático ser ignorado, evitando alterações acidentais à focagem causadas por operação não intencional do anel de foco.

1 Deslize a chave do modo de foco da lente para **A/M** ou **M/A**.
2 Foque.
Se desejado, o foco automático pode ser cancelado girando o anel de foco da lente enquanto o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade (ou, se a câmera estiver equipada com um botão **AF-ON**, enquanto o botão **AF-ON** é pressionado, ou se o seletor de função de foco for ajustado em **AF-ON**, enquanto é pressionado um botão de função de foco). Para focar novamente usando o foco automático, pressione o botão de liberação do obturador até a metade ou pressione novamente o botão **AF-ON** ou de função de foco.

Chave de limite de foco

Esta chave determina os limites de distância de foco para o foco automático.



- **FULL**: selecione esta opção para todo o alcance de foco.
- **∞–10m**: Se o seu assunto estiver a uma distância de pelo menos 10 m, selecione esta opção para um foco mais rápido.

■ Botões e seletor de função de foco

A função atribuída aos botões de função de foco pode ser selecionada usando o seletor de função de foco.

Seletor de função de foco	Botão de função de foco
AF-L	Trava de foco
MEMORY RECALL	Recuperação de memória
AF-ON	Início de AF da lente

- A função atribuída pode ser executada pressionando qualquer um dos quatro botões de função de foco.
- Para mover (girar) os botões de função de foco para uma nova posição, contate os técnicos autorizados pela Nikon.

Trava de foco (AF-L)

A trava de foco só está disponível com foco automático.

1 **Deslize a chave do modo de foco da lente para A/M ou M/A.**
2 **Deslize o seletor de função de foco para AF-L.**
3 **Trave o foco.**
O foco pode ser travado pressionando qualquer dos botões de função de foco e permanece travado enquanto o botão é pressionado. O foco pode também ser travado usando os controles da câmera.

Recuperação de memória

Salve e recupere posições de foco da lente usadas com frequência.

Salvar posições de foco

1 **Deslize a chave liga/desliga do bipe para ♪.**
2 **Foque.**
3 **Pressione o botão de ajuste da memória.**
Esta operação pode ser executada em qualquer modo de foco independentemente da posição do seletor de função de foco. Soará um bipe se a operação tiver sucesso. Se a operação falhar, o indicador de distância de foco irá girar para trás e para a frente cerca de dez vezes e a lente irá emitir um bipe curto, seguido por três bipes longos. Foque e pressione novamente o botão de ajuste de memória. A distância armazenada não é eliminada se a câmera for desligada ou se a lente for desmontada.

Usar posições de foco armazenadas

1 **Deslize o seletor de função de foco para MEMORY RECALL.**
2 **Recupere a distância de foco armazenada.**
Pressione qualquer dos botões de função de foco para focar à distância armazenada. A câmera irá focar novamente na distância armazenada mesmo quando o botão de liberação do obturador é pressionado até a metade. O foco normal é restaurado quando o botão de função de foco for liberado. Mantenha o botão de função de foco pressionado até a fotografia ser tirada.

Chave liga/desliga do bipe

A chave liga/desliga do bipe pode ser usada para ativar ou silenciar o bipe que soa durante as operações de ajuste e recuperação da memória.

- ♪: Bipe ativado.
- 🔕: Bipe silenciado.

Iniciar AF (AF-ON)

1 **Deslize a chave do modo de foco da lente para A/M ou M/A.**
2 **Deslize o seletor de função de foco para AF-ON.**
3 **Foque.**
Pressione qualquer dos botões de função de foco para focar usando o foco automático. Também pode focar usando controles da câmera.

■ Profundidade de campo

Se a câmera oferecer visualização da profundidade de campo (stop down), a profundidade de campo pode ser visualizada no visor.

■ Abertura

A abertura é ajustada usando os controles da câmera. A velocidade de captura de quadros poderá baixar em algumas abertures.

■ Redução de vibração (VR)

A redução de vibração (VR) diminui o efeito de deslocamento causado pela trepidação da câmera, permitindo velocidades do obturador até 4.0 pontos mais lentas do que seria no caso contrário, aumentando a faixa de velocidades de obturador disponíveis. Os efeitos da velocidade do obturador logado VR são medidos em modo NORMAL de acordo com os padrões da Câmera and Imaging Products Association (CIPA). As lentes de formato FX são medidas usando câmeras digitais de formato FX, as lentes de formato DX usando câmeras de formato DX. As lentes de zoom são medidas com o zoom ao máximo.

Utilização da chave de redução de vibração

- **Selecione OFF** para desativar a redução de vibração.
- **Selecione NORMAL** para melhorar a redução de vibração ao fotografar assuntos parados. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.
- **Selecione SPORT** ao fotografar atletas e outros assuntos que estejam se movendo rapidamente de forma imprevisível. A redução de vibração tem efeito quando o botão de liberação do obturador for pressionado até a metade.

Utilização da redução de vibração: notas

- Quando utilizar a redução de vibração, pressione o botão de liberação do obturador até a metade e espere que a imagem no visor estabilize antes de pressionar o botão de liberação do obturador até o fim.
- Quando a redução de vibração estiver ativa, a imagem no visor poderá aparecer desfocada depois de o obturador ser disparado. Isto não indica um mau funcionamento.
- **SPORT** é recomendado para fotos panorâmicas, embora **NORMAL** também seja suportado.
- Nos modos **NORMAL** e **SPORT**, a redução da vibração aplica-se apenas ao movimento que não faz parte da panorâmica (se a câmera fizer uma panorâmica horizontal, por exemplo, a redução de vibração será aplicada apenas à trepidação vertical).
- Não desligue a câmera nem remova a lente enquanto a redução de vibração estiver em vigor. Se a alimentação da lente for interrompida enquanto a redução de vibração estiver ligada, a lente poderá chocalhar quando agitada. Isto não é um mau funcionamento, e pode ser corrigido reinstalando a lente e ligando a câmera.
- Se a câmera estiver equipada com um flash embutido, a redução de vibração será desativada enquanto o flash carrega.
- A redução de vibração **NORMAL** e **SPORT** pode reduzir o desfoque quando a câmera é montada num tripé. **OFF** poderá no entanto produzir melhores resultados em alguns casos dependendo do tipo de tripé e das condições de disparo.
- **NORMAL** e **SPORT** são recomendados se a câmera estiver montada em um monopé.

■ Parassol

O parassol protege a lente e bloqueia a luz difusa que de outra forma causaria refração ou fantasmas.

Aperte completamente o parafuso do parassol (❷).

Poderá ocorrer vinheta se o parassol não for corretamente acoplado. O parassol pode ser invertido e montado na lente quando não estiver em uso.

■ Usar uma gola de tripé rotativa embutida

Acople tripés à gola do tripé da lente, não à câmera. Note que a sua mão poderá tocar no tripé se girar a câmera segurando a pela empunhadura. A gola do tripé pode ser desmontada desapertando o parafuso de trava da gola do tripé; para mais informações, contate um representante de assistência técnica autorizada Nikon.

Reposicionar a câmera

Desaperte o parafuso de fixação do anel da gola do tripé (❶). Faça corresponder o índice de rotação da lente (❷) à orientação da câmera, e depois aperte o parafuso (❸).

Gola do monopé

A gola substituível do monopé pode ser usada no lugar da gola do tripé. Depois de substituir a gola, assegure-se de que a trava da gola está completamente apertada. A não observância desta precaução poderá resultar em danos à lente ou à câmera.

■ Ranhura de segurança

A ranhura de segurança pode ser usada para prender travas de cabos de segurança de terceiros. Para obter mais informações, consulte a documentação fornecida com a trava do cabo de segurança.

■ Filtros

Quando tirar fotografias com o suporte de filtro de encaixe, assegure-se de que está introduzido um filtro. O suporte vem com um filtro de cor neutra (NC) encaixado.

Inserir filtros

1 Destrave o suporte.
Pressione para baixo o parafuso do suporte do filtro de encaixe e gire para a esquerda até que a linha branca esteja alinhada com o eixo da lente.
2 Remova o suporte de filtro de encaixe.
3 Remova o filtro fornecido.

4 Aparafuse um filtro de rosca de 40,5 mm no lado do suporte marcado “Nikon” e “JAPAN”.
O suporte pode então ser reinserido virado quer para o assunto ou para a câmera.

Usar um filtro polarizador circular de encaixe C-PL405 opcional

O C-PL405 bloqueia reflexos indesejados de vidros, água e outras superfícies não metálicas. O suporte de filtro de encaixe não é necessário. Quando usar o filtro, assegure-se de que ele está bem fixo e note que ele não é resistente à poeira ou a respingos. Note que usando um C-PL405 aumenta ligeiramente a distância mínima de foco e altera a distância de foco da indicada pelo indicador de distância de foco. Quando usar a recuperação de memória, assegure-se de que acopla o filtro antes de armazenar a posição do foco.

Não deixe o C-PL405 por longos períodos sob a luz solar direta ou em locais expostos a umidade excessiva ou a altas temperaturas.

■ Cuidados com a lente

- A lente retorna para a abertura máxima quando removida da câmera. Para proteger o interior da lente, guarde-a afastada da luz solar direta ou recoloque a tampa da lente.
- Suporte sempre a lente ao segurar a câmera. A não observância desta precaução poderá danificar o encaixe da lente.
- Não levante ou segure a lente ou a câmera usando apenas o parassol da lente.
- Mantenha limpos os contatos CPU.
- Caso a gaxeta de borracha de fixação da lente seja danificada, interrompa imediatamente a utilização e leve a lente a uma assistência técnica autorizada Nikon para reparação.
- Use um soprador para remover poeira e sujidade das superfícies da lente.
- Para remover manchas e impressões digitais das superfícies de vidro, aplique uma pequena quantidade de etanol ou líquido de limpeza em um pano de algodão macio e limpo ou um tecido de limpeza de lentes e limpe a partir do centro para fora, num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar no vidro com os dedos.
- O elemento dianteiro revestido de flúor pode ser limpo simplesmente esfregando-o suavemente com um pano seco. Manchas e impressões digitais podem ser removidas usando um pano de algodão macio e limpo ou um tecido de limpeza de lentes. Limpe do centro para fora num movimento circular, tomando cuidado para não deixar manchas ou tocar na superfície do vidro com os seus dedos. Para remover manchas persistentes, limpe cuidadosamente com um pano macio umedecido em uma pequena quantidade de água destilada, etanol ou produto de limpeza de lente. As manchas de água no elemento revestido de flúor com repelente de água e óleo podem ser removidas com um pano seco.
- Nunca use solventes orgânicos tais como tiner ou benzeno para limpar a lente.
- Coloque as tampas de encaixe frontal e traseira antes de guardar a lente no estojo da lente.
- Se a lente não vai ser usada por um longo período, guarde-a em um local fresco e seco para evitar mofo e ferrugem. Não guarde sob a luz solar direta nem com bolas de naftalina e de cânfora.
- Mantenha a lente seca. O enferrujamento do mecanismo interno pode causar danos irreparáveis.
- Deixar a lente em locais extremamente quentes pode danificar ou deformar partes feitas de plástico reforçado.
- Levar a lente de um ambiente quente para um ambiente frio ou vice-versa pode causar condensação prejudicial no interior e no exterior da lente. Coloque a lente dentro de um saco fechado ou estojo de plástico antes de atravessar uma grande diferença de temperatura. A lente pode ser tirada do saco ou do estojo após algum tempo para se ajustar à nova temperatura.
- Se a tampa de encaixe frontal for dobrada se formar se vincos, mas isso não impede que a tampa possa ser usada.
- Não sente nem fique em pé sobre o estojo.
- A Nikon não aceita responsabilidade por danos ou furtos dos dispositivos protegidos por cabos de segurança.

■ Acessórios fornecidos

- Tampa frontal de encaixe da lente
- Tampa traseira da lente LF-4
- Parassol da lente HK-40
- Suporte de filtro de encaixe
- Filtro NC de rosca de 40,5 mm
- Alça LN-2
- Estojo resistente CT-608
- Gola de monopé

■ Acessórios compatíveis

- Filtros de rosca de 40,5 mm
- Filtro polarizador circular de encaixe C-PL405
- Teleconversores AF-I/AF-S TC-14E /TC-14E II /TC-14E III /TC-17E II /TC-20E /TC-20E II / TC-20E III

■ Especificações

Tipo	Lente AF-S tipo E com CPU embutido e encaixe F
Distância focal	600 mm
Abertura máxima	f/4
Construção da lente	16 elementos em 12 grupos (incluindo 4 elementos de lente ED, 2 elementos de fluorite e elementos de lente com revestimentos de nano cristal) e 1 elemento protetor de vidro (com revestimento de flúor)
Ângulo de visão	• Câmeras Nikon D-SLR de formato FX: 4° 10′ • Câmeras Nikon D-SLR de formato DX: 2° 40′
Informação de distância	Saída para a câmera
Focagem	Sistema Internal Focusing (IF –